

## 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

## 評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～6	デザイン	絵文字	(知) 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 絵の具の特性や表現方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	(発) 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 (鑑) 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく、自らの夢や理想、目指す姿を表すのに適した表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7	鑑賞	浮世絵の魅力	(知) 浮世絵の構図や色彩、線などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に全体の印象や作風で捉えて、西洋絵画にどのように生かされているかを理解している。	(鑑) 浮世絵の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な工夫などについて考えたり同時代の西洋絵画との相違点などに気づいたりして、美術を通じた国際理解について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵が西洋に影響を与えた理由を探るなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

7	デザイン	視覚伝達デザイン [ポスターの制作]	<p>(知) イラストレーションやキャッチコピー、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。</p> <p>(技) 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>(発) 伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや写真、文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えて美しく印象に残るポスターなどの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
9~12	彫刻	心の中を表現する 「抽象彫刻を作ろう」	<p>(知) 形が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 石の特性を考えて意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</p>	<p>(発) 感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1	鑑賞	美の三大巨匠 「ルネサンスが目指したものの」	<p>(知) 明暗や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさ、構図や背景などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p>(鑑) ルネサンスの表現からよさや美しさを感じ取り、ほかの時代の表現との相違点に気付き、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的にルネサンスの表現の特徴や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、時代背景や美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

1～3	デザイン	シンメトリーデザイン	<p>(知) 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>(発) 自分の内面や願いなどから主題を生み出し、材料の組み合わせや創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深めている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の内面や願いを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>評価方法</b></p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品（構想力・技能）</li> <li>・ワークシート</li> <li>・アイディアスケッチ</li> <li>・テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品（発想力・表現力）</li> <li>・アイディアスケッチ・鑑賞ノート</li> <li>・合評会</li> <li>・テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業への取り組み、作業進度や内容</li> <li>・提出物</li> <li>・話し合い活動への参加状況</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

学習の進め方

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1週間に1回の授業のため、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組む。</li> <li>・ 実技に関しては、作業への取り組みの姿勢や進度、発想力・構想力・表現力について、アイディアノートやふりかえりシート、作品の机間指導による技能チェックを行う。</li> <li>・ 制作は個々で行うが、グループワークを活用した作業の協力体制を大切に、お互いがアドバイスやサポートをし合う。</li> </ul>
---